

令和8年度 3学年 理科指導計画・評価計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	各単元における観点評価規準		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	4	化学変化とイオン	35	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリと塩 ・学習のまとめ等 ・探究活動 	化学変化についてイオンのモデルをとらえながら、観察・実験などを通して、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に必要な基本操作や記録などの技能を身に着けている。	水溶液とイオンについて、観察・実験を行い、イオンと関連付け、結果をまとめ分析し、化学変化の規則性や関係性を表現する。また、探究学習を振り返り、今後の学習に活かす取り組みをする。	水溶液とイオンや化学電池に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、今後の課題ををとりえ、ふり返り、科学的に探究しようとするプロセスをふまえる。
	5						
	6						
7							
8							
2 学期	9	運動とエネルギー	35	<ul style="list-style-type: none"> ・力の合成と分解 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・エネルギーの移り変わり ・学習のまとめ等 ・探究活動 	身近な物理現象を日常生活と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、その観察・実験などに関する知識・技能を身に付けている。	身近な物理現象について、課題を見いだし、見通しをもって観察・実験などを行い、光や音の性質や力の働きに関する規則性や関係性を見いだし、科学的に表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	10						
	11						
3 学期	12	宇宙を見る	35	<ul style="list-style-type: none"> ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動き ・学習のまとめ等 ・探究活動 	太陽の定点観察を実施し、その結果からモデル実験を通し、天体の運動について理解すると共に、それらの観察やモデル実験に関する操作や記録手法など、科学的な技能を身に着けている。	太陽、恒星と惑星について、観察や実験を行い、結果や資料を分析し、レポートにまとめ、天体運動の規則性を見出し表現する。また、科学的研究の手法を振り返り、今後の課題を探究する。	太陽や恒星、惑星の運動に関する事物・現象に進んで関わり、実験観察を主体的に実施し、見通しをもって科学的にアプローチし、計画的に取り組む探究や学習がなされている。
	1						
	2						
	3						
年度末	1年間	配当時数(合計)	140	評価方法	・定期考査、ペーパーテスト、小テスト、教師の観察、提出物、ワークなど	・定期考査、ペーパーテスト、小テスト、教師の観察、提出物、ワークなど	・定期考査、小テスト、教師の観察、提出物、ワーク、予習、復習など